

平成29年度第2回（栄養学・薬学・医学・歯学・看護学）グループ合同会議議事概要
（栄養学・薬学・医学・歯学）教育FD/ICT活用研究委員会
CCC看護学グループ運営委員会

- I. 日 時 : 平成29年10月23日（月）18:00~20:00
- II. 場 所 : アルカディア市ヶ谷(私学会館)7階 琴平
- III. 出席者 : 栄養学教育FD/ICT活用研究委員会 武藤委員長、中川委員、市丸委員、原島委員、酒井委員
薬学教育FD/ICT活用研究委員会 黒澤委員長、西村委員、大谷委員
医学教育FD/ICT活用研究委員会 内山委員長、山本委員、藤倉委員、渡辺委員(スカイプ)
歯学教育FD/ICT活用研究委員会 神原委員長、片岡委員、新井委員、藤井委員、奥村委員、
森實アドバイザー
CCC看護学グループ運営委員会 仲井委員、梶井委員
事務局 井端事務局長、森下主幹、中村事務局員

IV. 議事概要

1. 開催要項の確定

薬学委員会黒澤委員長の議事進行により、分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の具体的な開催内容について検討を行った。各分野から報告された話題提供案について協議し、また意見交流のテーマ内容の確認と具体的な進め方についての協議確認を行い以下のとおり決定した。

(1). 話題提供の内容説明、協議と決定事項

① 栄養学分野

- ・栄養マネジメント教育における取り組みを紹介することで、多分野の教員が連携し、ネットを活用したPBL学修と、学修成果の評価による実践的な授業改善について提案することを確認した。

(話題提供者) 石崎 由美子 氏 (福山大学 生命工学部教授)

(タイトル) 「現場・教員連携による栄養マネジメント学修改善の提案」

(内容) 栄養マネジメントの実践能力を訓練するため、ネット上に多職種の専門家と多分野の教員が連携して学修支援システムを構築することで、実践型のPBL学修と学修成果の評価を行い、論理的な思考力、合理的な判断力、他者の立場を考慮した表現力と主体性・多様性・協働性を身につける授業の提案。

② 薬学分野

- ・話題提供は、PBLとTBLを行うことで主体性や知識の活用力を身につける実践教育の紹介であることを確認した。

(話題提供者) 松野 純男 氏 (近畿大学 薬学部医療薬学科教授)

(タイトル) 「基礎から臨床までをつなげる分野横断的統合型教育の効果と課題」

(内容) 薬学部で履修する多分野に亘る基礎科学系科目および臨床実務との繋がりを認識させ、学修意欲を持たせるため、教員から課題(テーマ)を提示して行われるPBLと、予習において学生同士が学び合うTBLを行うことで主体性や知識の活用力を身につける教育実践の紹介。

③ 医学分野

- ・ICTを活用し、多様な分野が統合的に学ぶ取り組みを通じた教育改善提案であることを確認した。

(話題提供者) 藤倉 輝道 氏 (日本医科大学 医学教育センター副センター長)

(タイトル) 「ICT 活用による多職種連携、分野横断型の教育改善モデルの提案」

(内容) 医療・福祉・保健関係の多様な分野の学生が混成チームを構成して ICT を活用した PBL を行い、課題に対する対応策や根拠を考えさせることを通じて、医療人として備えるべきクリティカルシンキングの力と合理的思考力・判断力を身に付ける統合授業の提案。

④ 歯学分野

・話題提供は、歯学教育における多分野連携による教育改善の取り組み紹介であることを確認した。

(話題提供者) 片岡 竜太 氏 (昭和大学 歯学部教授)

(タイトル) 「医療系分野での多分野連携 PBL 授業の実践と教育効果・課題」

(内容) 医学・歯学・薬学・保健医療学(看護、理学・作業療法)の学生が対面およびネットを活用してグループで連携することにより、患者の多面的な把握、問題点の抽出、治療計画の立案過程で教え合い学び合いを通じて、知識・理解を再確認し、主体的に問題解決に取り組む能力を育成する授業の紹介。

⑤ 看護学分野

・看護学教育における e ポートフォリオの実践報告をすることで、学生と教員への効果と評価について紹介する内容であることを確認した。

(話題提供者) 梶井 文子 氏 (東京慈恵会医科大学 医学部教授)

(タイトル) 「e ポートフォリオを活用した看護学授業の実践と評価」

(内容) 「主体性」、「思考力」の育成を図るために、e ポートフォリオを開発して学びを振り返らせディプロマポリシーに掲げる到達能力の獲得状況を可視化し、学生自身に認識させることを通じて、看護学の知識・技能の修得と、課題解決能力の育成を目指した 4 年間の授業実践と評価の紹介。

(2) 意見交流について

意見交流のテーマを以下の 4 項目に決定するとともに、対話集会当日の役割分担を決定した。

今回の対話集会では、参加申込者へのアンケート結果を活かし参加者との積極的な意見交流や、認識の共有を目指すことなど開催要項の詳細を決定した。なお、委員は対話集会における具体的な進め方(シナリオ)を検討する。

- ① 「学力の 3 要素」を高める ICT を活用した教育・学修方法の工夫・改善
- ② 多職種連携教育を発展させるための工夫
- ③ 授業科目の相互改善を促進するための仕組みと ICT 活用
- ④ ICT による外部評価モデルの必要性和仕組み

(3) 開催日時と場所

開催日時：平成 30 年 1 月 21 日 (日) 14 : 00 ~ 17 : 30

開催場所：帝京平成大学 中野キャンパス

V. 今後の予定

事務局は委員にアンケート集計結果を報告し、進行役委員は運営シナリオをまとめる。次回是对話集会とし当日、事前打合せ会を実施することを確認した。